

浜玉中学校 「学校の強みを創る」

[1]

◆学校のリソース「SWOT分析」

外部環境の支援的要因(Opportunity)	内部環境の強み(Strength)
①浜崎海岸や虹の松原、鏡山等の豊かな自然を身近に感じながら学校生活を送ることができる ②市民センター、公民館、交番、消防署、病院などの関係機関との連携が取りやすい ③保護者、社会教育関係者が協力的である ④浜玉町青少年育成協議会との連携が強力であり、生徒の健全育成に關する連携協力体制が整っている ⑤浜玉町生活指導協議会を核とした小中連携が図りやすい ⑥唐津市学力向上研究について浜玉中校区で指定を受けることで、小中連携を図りやすい ⑦社会教育施設が隣接するなど充実している	①比較的、若手教員が多く意欲的である ②職員間の協力体制が整っている ③生徒が落ち着いている ④生徒指導部会、教育相談部会、特別支援部会等の協議体制が整っている ⑤ミドルリーダーが育ちつつあり、チーム学校と呼べる組織に近づいている ⑥TT少人数、教育配慮(主幹教諭)、児童生徒(問題行動)、中1選択などの加配があり、手厚い支援が可能 ⑦校舎等の学習環境が新しく明るい環境で学習できる ⑧生徒の部活動参加率が高い
外部環境の阻害的要因(Threat)	内部環境の弱み(Weakness)

①のリソース：浜崎海岸や虹の松原、鏡山等の豊かな自然を身近に感じながら学校生活を送ることができるという外部環境要因を生かす。

◆海洋教育の取組

	学習活動	目標等
1	○全学年「ラブアース・クリーンアップ2022」(令和4年6月19日)	○地域の方々や児童・生徒との活動を通して、郷土を愛し、誇りをもつ生徒を育てる。また、ラブアースで素材を集め、その素材を各教科の授業で活用していくという流れをつくる。
2	○第2学年「浜崎海岸・虹の松原清掃活動」(令和4年9月8日)	○地域の方々や児童・生徒との活動を通して、郷土を愛し、誇りをもつ生徒を育てる。
3	○第1学年「虹の松原清掃活動」(令和4年9月15日)	○地域の方々や児童・生徒との活動を通して、郷土を愛し、誇りをもつ生徒を育てる。
4	○第1学年「海洋ごみ問題・マイクロプラスチックに関する講義及び体験活動」(令和4年9月26日)	○地域人材を講師や支援者として学校に招き、自然愛護、持続可能な社会づくり等の意識の向上を図る。
5	○第1学年「海洋ごみ問題・マイクロプラスチックに関する映像視聴」(令和4年10月12日)	○NHK for schoolの映像を視聴することで、自然愛護、持続可能な社会づくり等の意識の向上を図る。
6	○全学年「海洋教育講演会(南米アマゾン川に行く)」(令和4年11月1日)	○郷土出身の写真家である山口大志さんをお招きし教育講演会を開催する。全世界的な視野から郷土の環境保全の意識を高める。



「海洋ごみ問題・マイクロプラスチックに関する講義及び体験活動」



「海洋ごみ問題・マイクロプラスチックに関する映像視聴」



「海洋教育講演会(南米アマゾン川に行く)」写真家 山口大志さん



「浜崎海岸・虹の松原清掃活動」



「虹の松原清掃活動」



「ラブアース・クリーンアップ2022」

〔全校生徒数〕381名〔職員数〕42名〔学級数〕普通学級12、特別支援学級3